

## 福島市中心市街地将来ビジョンに関する提言書(案)

福島市中心市街地将来ビジョン検討委員会において、まちづくりの課題を踏まえて、福島駅を中心とした中心市街地の活力の向上と交流人口の拡大に向け、誘導すべき高次都市機能やまちづくりの方針について検討しましたので、以下のとおり提言いたします。

### 1 まちづくりの基本的な考え方について

福島駅を中心とした中心市街地は、県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点として、さらに発展するために交流・集客拠点の整備と多様な都市機能の集積強化を図り、魅力の向上と賑わいの創出を目指したまちづくりを推進すべきであると考えます。

### 2 福島駅周辺の中心市街地におけるまちづくりの方針について

中心市街地の魅力向上と賑わいの創出を目指したまちづくりを推進するため、5つの視点でのまちづくり(まちづくりの方針)を行うべきであると考えます。

#### (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくり

広域コンベンション・商業・業務・教育・文化・医療・福祉・生涯学習・宿泊・交流・情報発信など多様な都市機能を集積強化させ、活力あるまちづくりを推進すべきであると考えます。

#### (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくり

商業環境の活性化やイベント等の充実、街なか観光の強化により、魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進すべきであると考えます。

#### (3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくり

住む人も、訪れた人も、まちを楽しみ、すごせる歩行・広場空間づくりを推進すべきであると考えます。

#### (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくり

生活に必要な都市機能が充実し、誰もが便利で安心・快適にすごすことのできるまちづくりを推進すべきであると考えます。

#### (5) みんなが参画し連携するまちづくり

暮らし・学び・働く人々が一緒に、自らのまちを考え、中心市街地のまちづくりを進めるため、ルールや仕組みをつくり、効果的かつ効率的に実践すべきであると考えます。

### 3 強化すべき都市機能の配置

福島駅周辺は、公共交通の要衝として首都圏などからのアクセスも良く、広域的な商業・高度医療・大学が集積する福島の強みを生かし、さらなる商業・教育・文化・交流機能の集積・強化を行い、福島らしさの醸成が必要であると考えます。

また、今後のまちづくりにおいては、公共投資の効率化や重点的施策の推進などが求められているため、広域利用向けの都市機能が集積している「駅前周辺エリア」と、本市の行政の中心として、市民利用向けの機能が集積している「市役所周辺エリア」に分け、より具体的な都市機能の配置について示すものとします。

#### (1) 駅前周辺エリアについて

駅周辺エリアは、アオウゼ及びこむこむ館までの南北動線軸と、大原綜合病院までの東西動線軸が形成されており、リニューアルされた東口駅前通り周辺に、今後予定の県立医科大学新学部・市街地再開発事業の整備により都市機能を集約させ、駅前の活性化を図るべきであると考えます。

##### ① 広域的な拠点地区として都市機能を集約

###### ア 複合型の市街地再開発事業による拠点形成

駅前に計画している複合型の市街地再開発事業は、広域的な商業・宿泊・バンケット・交流・業務・駐車場・居住などの都市機能が集約され、福島の顔となる利便性の高い交流拠点が形成されることが期待されます。

特に、商業機能については、駅前の顔として人を引きつける魅力的な施設とするため、マーケティングリサーチのもと、事業を推進すべきであると考えます。

###### イ コンベンション機能などの駅前配置

現在、公共施設の再編整備において、コンサート・文化芸術・会議などの利用を検討しているコンベンション機能については、にぎわいの創出や交流人口の拡大の観点から、大学や高度医療などの広域利用向けの都市機能が集積している駅前に配置すべきであると考えます。

なお、コンベンション施設整備にあたっては、コンセプトを明確化し、官民連携や民間事業者のアイデアを取り入れるプロセスの検討を行い効果的・効率的な施設運営を行うべきであり、具体的な規模などの検討を進める際には、市場について調査分析を行うとともに、費用対効果の検証を踏まえ拠点性を強化する内容にすべきであると考えます。

また、官・民、双方にとってメリットを生み出すことが可能となる事業のあり方を検討すべきものと考えます。

教育・文化・図書館・生涯学習・スポーツアミューズメント機能についても、にぎわいの創出や交流人口の拡大の観点から、駅前に配置すべきであると考えます。

###### ウ 駅周辺の既存施設の再活性化

アオウゼ及びこむこむ館などの既存施設については、機能強化の検討や有効利用により再活性化を図るべきであると考えます。

## ②商業などの活性化・賑わい創出

### ア 個店や商店街の魅力創出

商業形態が変化している中で、個店ごとの情報発信や吸引力の強化や、特徴のある魅力的な商店街としてのイメージアップ、あるいはテナントミックスによる機能強化など、駅前に計画している複合型の市街地再開発事業を契機に、商業の活性化を図るべきであると考えます。

### イ 街なか観光の強化

花見山や信夫山などの自然や、福島城下などの歴史的遺産・文化などの既存資源を観光資源として掘り起こすとともに、観光バスを考慮した駐車場の整備などにより周辺観光施設との連携を強化し、街なか観光の推進を図るべきであると考えます。

そのひとつの手法として、路面電車をイメージした低速電動コミュニティバスなどによる、街なか及び観光スポットの巡回なども有効であると考えます。

また、ふくしまの優れた特産物であるモモ、ナシ、リンゴなどを駅前の店頭において、積極的に販売・陳列し、ふくしまの魅力を観光資源として、有効活用を図るべきであると考えます。

### ウ イベントなどの強化

市民をはじめ観光客の方々にも楽しんでいただくため、市の催事として定着しているわらじまつりや福島稲荷神社例大祭などに加え、ふくしま街コスなど、道路・歩行者空間を活用した多様なイベントを継続・発展させるべきであると考えます。

## ③東口駅前通りシンボル軸及び回遊空間の強化

### ア 歩行者・滞在者のための東口駅前通りの強化

歩行者・滞在者が快適で安全に街なかを散策でき、にぎわい、魅力的な道路・歩行者空間を整備し、ストリートミュージック、ストリートパフォーマンス、イベント開催など、イベントストリートとして利用し回遊環境の強化を図るべきであると考えます。

そのひとつの手法として、四季が織りなすふくしまをイメージした花などによる景観整備や、トランジットモール、オープンカフェなども有効であると考えます。

### イ 広場の整備とパセオ通りの再生

市街地再開発事業から生み出される公開空地や街なか広場は、ストリートミュージック、ストリートパフォーマンス、イベント開催など、レクリエーション機能の充実を図るべきと考えます。

パセオ通りは、商業活性化の取り組みと連動したコミュニティ道路としての再生を図るべきであると考えます。

### ウ 新東西自由通路の検討

新東西自由通路を整備し、歩行者が安全で利用しやすい移動環境の整備、駅利用者の利便性向上、駅東口・西口地区の連携強化を図るべきと考えます。

実施にあたっては、駅前広場や駅舎の連携を図る駅の橋上化や、福島交通飯坂線などの乗り入れ検討などの多くの課題を有することから、関係機関との協議

や事業化の検討を行うべきであると考えます。

当面は、東京オリンピック・パラリンピックに向け、福島駅東口・西口周辺における温泉地や観光地などへの案内サインについて、外国人及び県外からの来訪者などの移動環境の向上を図るため、早急に整備すべきであると考えます。

#### ④産官学民による連携のための場の創出

##### ア 産・官・学・民によるまちづくり

官民連携や民間アイデアを取り入れる体制づくりを検討するとともに、民間事業者の創意工夫を活用し、産・官・学・民が一堂に会し、話し合い、役割と責任を担いながら、まちづくりを進めるべきであると考えます。

##### イ 再開発による民間活力との連携

コンベンション施設の整備においては、コンベンション機能を補完する宿泊・バンケット機能の導入を検討している複合型の市街地再開発事業との連携について検討すべきであると考えます。

### (2)市役所周辺エリアについて

市民利用施設の充実のため市民利用向け機能の集積・強化が必要であると考えます。

#### ① 公共施設の再編・機能の集約

市民利用施設と災害時の避難所としての役割を有する市役所本庁舎西棟に、統合・複合化を検討している教育・文化・図書館・生涯学習機能は、市民利用の利便性向上を考慮するとともに、相乗効果が発揮できる機能の配置を検討すべきであると考えます。

#### ② 交通網の充実

拠点施設整備に伴い発生集中する交通について、駐車場などの対策を検討するとともに、駅から駅前エリアと市役所周辺エリア間における、高齢者や交通弱者などの円滑な移動を確保するための交通網の充実を図るべきであると考えます。

### 《むすびに》

本市駅前には、民間活力などによる老朽化しつつある街並みの再整備など、都市が再生されようとしています。このまちづくりの動きを好機ととらえ、県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点として、福島駅周辺をさらに発展させるべきであると考えます。

そのため、計画策定や事業推進にあたっては、産・官・学・民の参画を得ながら、国・県との連携のもとで推進すべきであると考えます。

最後に、この提言が、今後のまちづくりに反映されますよう、強く願うものであります。



## 中心市街地機能強化エリア・動線軸

## 【福島市の概要】



## 〈まちづくりの基本的な考え方〉

福島駅を中心とした中心市街地は、県都にふさわしい魅力あふれる広域的な拠点として、さらに発展するために交流・集客拠点の整備と多様な都市機能の集積強化を図り、魅力の向上と賑わいの創出を目指したまちづくりを推進すべきであると考えます。

## 風格ある県都ふくしまの実現

**方針1** 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくり

広域コンベンション・商業・業務・教育・文化・医療・福祉・生涯学習・宿泊・交流・情報発信など多様な都市機能を集積強化させ、活力あるまちづくりを推進すべきであると考えます。

## 方針2 魅力的で賑わいのあるまちづくり

商業環境の活性化やイベント等の充実、街なか観光の強化により、魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進すべきであると考えます。

**方針 3 まちを楽しみ、すごせる  
シンボル軸・回遊空間づくり**

住む人も、訪れた人も、まちを楽しみ、すごせる歩行・広場空間づくりを推進すべきであると考えます。

#### 方針4 快適で住みやすいコンパクトなまちづくり

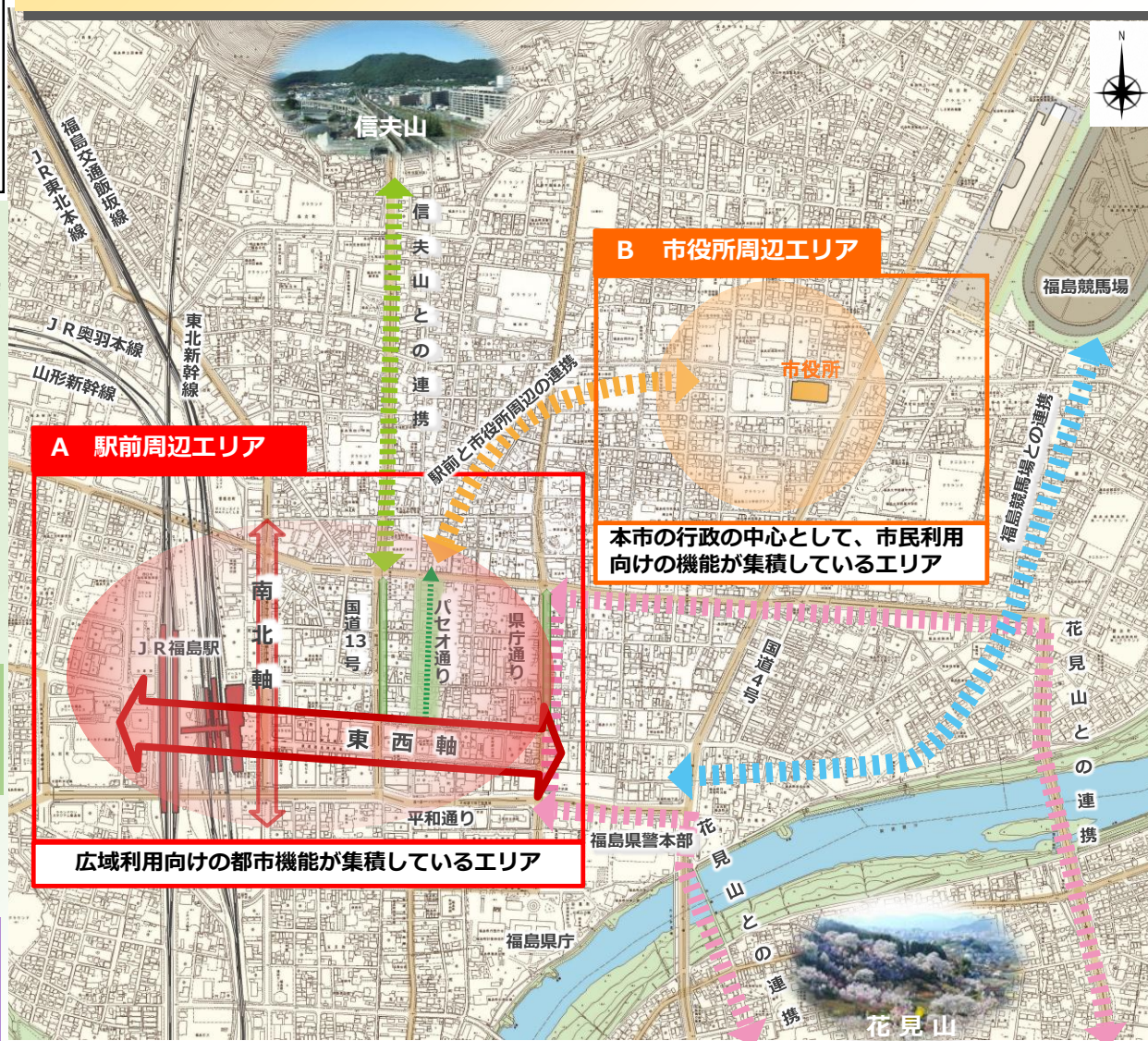
生活に必要な都市機能が充実し、誰もが便利で安心・快適にすごすことのできるまちづくりを推進すべきであると考えます。

## 方針5 みんなが参画し連携するまちづくり

暮らし・学び・働く人々が一緒に、自らのまちを考え、中心市街地のまちづくりを進めるため、ルールや仕組みをつくり、効果的かつ効率的に実践すべきであると考えます。

## 〈強化すべき都市機能の配置〉

福島駅周辺は、公共交通の要衝として首都圏などからのアクセスも良く、広域的な商業・高度医療・大学が集積する福島の強みを生かし、さらなる商業・教育・文化・交流機能の集積・強化を行い、福島らしさの醸成が必要であると考えます。





# A 駅前周辺エリア

## ②商業などの活性化・賑わい創出

### A 個店や商店街の魅力創出

- 複合型の市街地再開発事業を契機に商業の活性化を図る

### イ 街なか観光の強化

- 自然、歴史的遺産・文化などの既存資源を観光資源として掘り起し、まちなか観光の推進を図る
- 周辺観光施設との連携を強化し、街なか観光の推進を図る
- ふくしまの優れた特産物を魅力的な観光資源として有効活用を図る

### ウ イベントなどの強化

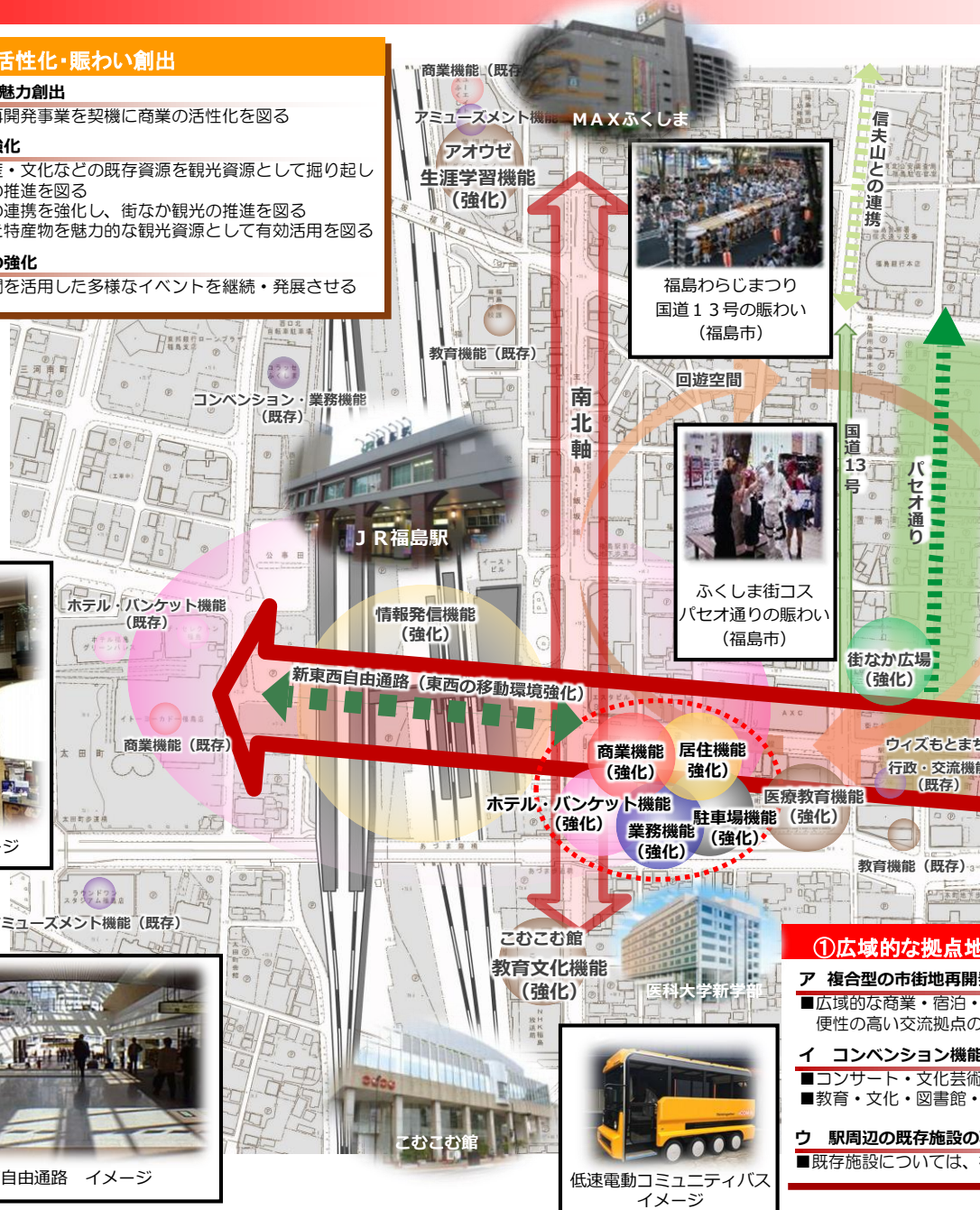
- 道路・歩行者空間を活用した多様なイベントを継続・発展させる



図書館 イメージ



東西自由通路 イメージ



## ③東口駅前通りシンボル軸及び回遊空間の強化

### A 歩行者・滞在者のための東口駅前通りの強化

- 魅力的な道路・歩行者空間を整備し、ストリートミュージック、ストリートパフォーマンス、イベント開催などイベントストリートとして利用し回遊環境の強化を図る

### イ 広場の整備とバスオ通りの再生

- 公開空地や広場は、ストリートミュージック、ストリートパフォーマンス、イベント開催などレクリエーション機能の充実を図る

### ウ 新東西自由通路の検討

- 新東西自由通路を整備し、歩行者が安全で利用しやすい移動環境の整備、駅利用者の利便性向上、駅東口・西口地区の連携強化を図る
- 東京オリンピック・パラリンピックに向け、福島駅東口・西口周辺に案内サインの整備を図る



左:イルミネーション  
右:七夕まつり  
バスオ通りの賑わい  
(福島市)



開放的な緑豊かな広場  
空間イメージ

## ④産官学民による連携のための場の創出

### A 産・官・学・民によるまちづくり

- 官民連携や民間アイディアを取り入れる体制づくりを検討する

### イ 再開発による民間活力との連携

- コンベンション施設の整備においては、市街地再開発事業との連携を図る



中心市街地活性化協議会  
コンベンション・バンケット機能  
(既存)



上町テラス  
高度医療機能  
(既存)

## ①広域的な拠点地区として都市機能を集約

### A 複合型の市街地再開発事業による拠点形成

- 広域的な商業・宿泊・バンケット・交流・業務・駐車場・居住などの都市機能が集積され、利便性の高い交流拠点の形成を図る

### イ コンベンション機能などの駅前配置

- コンサート・文化芸術・会議などの利用を検討しているコンベンション機能を駅前に配置する
- 教育・文化・図書館・生涯学習・スポーツ・アミューズメント機能を駅前に配置する

### ウ 駅周辺の既存施設の再活性化

- 既存施設については、機能強化の検討や有効利用により再活性化を図る



低速度電動コミュニティバス  
イメージ



# B 市役所周辺エリア

## ①公共施設の再編・機能の集約

■市民利用施設と災害時の避難所としての役割を有する施設に、統合・複合化を検討している教育・文化・図書館・生涯学習機能は、市民利用の利便性の向上を考慮するとともに、相乗効果が発揮できる機能の配置検討を図る



生涯学習 イメージ



学習スペース イメージ  
撮影：ナカサ&パートナーズ



地域コミュニティ イメージ



私たちのまち福島の歴史セミナー



## ②交通網の充実

■駅から駅前エリアと市役所周辺エリア間における、円滑な移動を確保するための交通網の充実を図る



市内循環もりんバス



低速電動コミュニティバス イメージ



図書館 イメージ